

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	Spread through air spaces (STAS)の有無による原発性肺腺癌のCT所見の比較検討		
② 実施予定期間	実施許可日から 2025年3月31日		
③ 対象患者	以下の対象期間中に当院の対象診療科で外科的切除を受けられた原発性肺腺癌の患者さん		
④ 対象期間	2017年1月1日 から 2021年12月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	第一外科		
⑦ 研究責任者	氏名	國弘佳枝	所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	識別コード、年齢、性別、既往歴、現病歴、CT画像、病理組織所見、病期分類		
⑨ 研究の概要	<p>Spread through air spaces (STAS)は主腫瘍の辺縁を超える肺実質肺胞腔内への腫瘍細胞の広がりの中で、肺癌の進展様式の1つとして2015年に世界保健機関（WHO）分類で示されました。STASの有無は全生存期間や無再発生存期間と強い相関がみられ、臨床病理学的に重要な再発予測、予後予測因子とされています。臨床病期Ⅰ期の原発性肺腺癌でSTAS陽性の場合、肺葉切除のみでは再発リスクがあるという報告もあります。一方で、凍結病理標本に基づく術中迅速組織診断でSTASの有無を診断するのは困難とも報告されています。術前のCT所見と臨床情報を組み合わせることによってSTASの状態を予測することは、有効な方法と考えられます。</p> <p>本研究の目的は、外科的切除されたT1症例の原発性肺腺癌の術前CT所見を評価し、STASの有無とCT所見について比較検討することです。STASの有無とCT所見の関連を明らかにすることで、術前CTでSTASについて臨床的な情報を提供できる可能性があります。</p>		
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2022年 8月 2日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		

⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。			
⑯ 利益相反	ありません			
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：亀田ふみ			
	電話	0836-22-2285	FAX	0836-22-2285